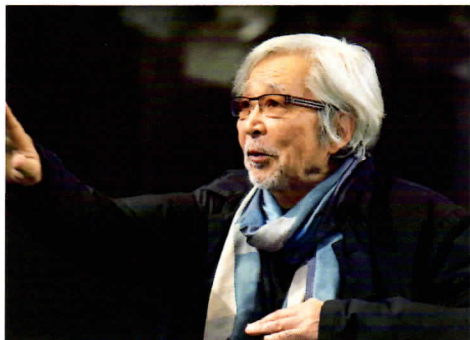


満州で少年時代を過ごしていた僕は、日本人が中国人に対して支配者のように



振舞っていたことをよく知っています。

だから、中国人である王希奇さんという画家が、縦3メートル横20メートルの大作を描いて、あの飢餓の中の日本人の悲惨な引き揚げを描き残すという大きな仕事をされたことに感動します。

山田 洋次

昨年、あの大きな作品の前に立った瞬間、私は六歳だった、引き揚げの行列の中に連れ戻されていました。

大陸特有の厳しい寒さの中で、お腹が空いて、身体中が痒くて、靴底が破れて足の指がちぎれるように痛くて…。でも、立ち止まることは許されず、必死で親の背中を追って歩き続けた、あの七十八年前の辛い引き揚げ体験。

でも、その旅の途中、父の親友だった中国人にこっそり屋根裏にかくまって貰った、温かい記憶も思い出して懐かしくなりました。

王希奇画伯に感謝です!

ちば てつや



王希奇氏略歴



画家。1960年、中国遼寧省錦州生まれ。

魯迅美術学院油絵学部に通学。中国美術協会会員。東洋的墨絵の要素を西洋油絵に自然に融合させた画風で評価される。特に歴史をテーマとする創作を得意とし、その独特な画風とオリジナルな視点で国内外の注目を浴び、既存の流派に属さない独立した芸術家と評される。

代表作に国家金メダル賞を獲得した《三国志・赤壁の戦い》(合作)、中国国家重大歴史題材美術創作プロジェクト入選作品《長征》、《遼瀋戦役攻克錦州》(合作)、および《官渡の戦い》などの大型絵画がある。油絵のほか、墨絵の《回声》、《高原人》《雷に聴く》も全国美術作品展に入選。数多くの作品が中国美術館、中国国家歴史博物館、中国国家軍事博物館などに収蔵されている。近年では、2012年から17年にかけて葫蘆島港から105万人の残留日本人の大送還をテーマとした大作《一九四六》(縦3m横20m)をはじめ、関連するシリーズ作品計50点を制作した。

会場のご案内

■ JRご利用の場合

JR米子駅から約1,000m
JR米子駅から各方向行きバス(除/松江方面)
米子市役所前下車(所要時間約5分)

■ お車の場合

米子自動車道・米子インターから約20分
(米子市役所有料駐車場をご利用ください。駐車カードを受付にお出しいただきますと2時間以内無料処理をします。)
※当館横に身体障がい者用2台・ハートフル駐車場2台を用意しています。

